

新 発 売

# クロスアート 抗ウイルス

新型コロナウイルスを24時間で99.98%減少 10年持続

ウイルスとは、人に病気を起こすウイルスとして、インフルエンザウイルスやノロウイルスなどが知られています。風邪はさまざまなウイルスが原因となります。

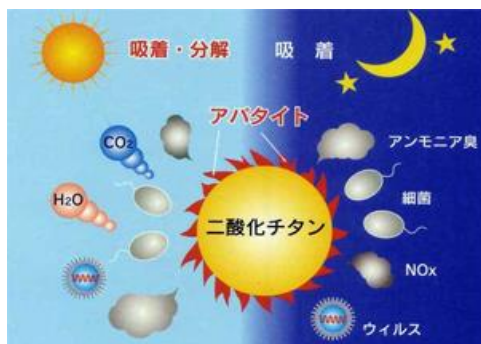
ウイルスは自分で増えることが出来ないため、他の細胞に入り込んで増えるのが特徴です。例えば、人の体にウイルスが入ると細胞の中で自分のコピーを作りながら増殖していきます。

その増殖を防ぐことを抗ウイルスと言います。

SIAAの抗ウイルス基準は、インフルエンザウイルス、ネコカリシウイルス（ノロウイルスの代替）を用いて、ISO21702の試験を実施して次の数値にて判断されています。

加工されていない製品の表面と比較して、ウイルスの数が100分の1以下（抗ウイルス活性値が2以上であるとき）である場合、その製品に抗ウイルス効果があるとしています。

※SIAA（一般社団法人抗菌製品技術協議会）の文面を参考。



- 光触媒の抗ウイルス効果はとて高く、さまざまな場面で有効と期待をされている効果のひとつです。
- 抗ウイルス仕様は24時間発揮することが出来るため新型コロナウイルスを不活性化します。
- 抗ウイルス仕様を一度塗れば、抗ウイルス効果は安心の10年も持続します。

■試験結果 ・試験方法：ISO21702 ・試験ウイルス：SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）

検 体		常用対数平均値	抗ウイルス 活性値
①クロスアート抗ウイルス（未加工品）	接種直後	5.56	
	24時間放置後	4.56	
②クロスアート抗ウイルス（加工品）	24時間放置後	0.85	<b>3.7</b>

※抗ウイルス活性値が3.7以上であるとき不活性化率は99.98以上である（産業技術研究所資料を参考）

※新型コロナウイルス試験のエビデンスは研修時にお渡しいたします。